

## 特定空家対応経過

## 【物件】

- 所在地 上尾市 [REDACTED]  
 ○建築年月 昭和 46 年 7 月  
 ○所有者 男性（故人）  
 ○相続権者 妻（住所：[REDACTED]）・長男（住所：[REDACTED]）  
 （管理人）

## 【概要】

近隣等からの苦情により、空き家であることを R4.5 月に確認。草木の繁茂や建物の状態改善に関する指導を再三行ったが、改善されていない。建物の損傷が進行しており、また、部材の落下や飛散による実害も発生していることから、管理不全空家の認定を経て現在は特定空家として認定している。

所有者は平成 6 年に亡くなっており、妻と長男に相続権があるが、登記はされていない。また、両者ともに相続の開始があったことを知ったときから 3 カ月以上が経過しているものと考えられ、相続の放棄はできない状況。

## 【経過】

年月日	対応	内容
R6.7	管理不全空家等認定	建築安全課の事前の調査結果により管理不全空家等に認定。
R6.12～ R7.2	管理不全空家の指導書送付 （計 3 回）	妻・長男に対して、管理不全空家に関する指導書を郵送。
R7.3	管理不全空家の勧告	指導に対他する対応がなく、妻・長男に対して勧告書を郵送。 これにより、令和 8 年度より住宅用地特例適用が除外される。
R7.6.2	特定空家等に認定	建築安全課立ち合いのもと再調査を行い、特定空家等に認定。
R7.6～ R7.9	特定空家等の指導書送付 （計 4 回）	妻・長男に対して、特定空家等に関する指導書を郵送。
R7.10.9	特定空家等の勧告	空き家の状態が改善されないことから、勧告書を郵送。

## 【今後の対応】

現在の状態が相続権者（管理人）により改善されなければ、特別措置法等の規定に基づき、代執行による対応を検討中